

○ 文化財の概要

1 名 称	まんようしゅう きしゅうぼん 万葉集 (紀州本)
2 員 数	20 帖 <small>じょう</small>
3 所 有 者	公益財団法人後藤報恩会
4 所有者の住所	名古屋市昭和区汐見町4-1
5 文化財の所在地	昭和美術館 (名古屋市昭和区汐見町4-1)
6 時 代	鎌倉時代・室町時代
7 概 要	

万葉集の諸本は、漢字本文にふられた訓=点よみてんのふられた段階ごとに「古点本」、「次点本」、「新点本」に分類される。この分類は、鎌倉時代初期における天台宗の学僧仙覚せんがくによるものであり、仙覚が点を加えたものを「新点本」、それ以前のを「古点本」、「次点本」としている。

全20帖からなる本書は、第1巻から第10巻が「次点本」で鎌倉時代に写された写本であり、第11巻から第20巻が「新点本」で室町時代に写されたものである。また、本書は「紀州本」と呼ばれ、江戸時代、紀州徳川家に伝来した万葉集の写本である。

このように、本書は「万葉集」20巻揃いの完本として、極めて貴重なものである。



(公益財団法人後藤報恩会 昭和美術館 提供)